

ALT



こんにちは
ハナ・イエイツ
外国語指導助手 (ALT)
です

札幌雪祭り

皆さんお久しぶりです。日本での三度目で最終の年は、瞬くうちに終わりを迎えようとしています。今年7月か8月に英国に帰る予定ですので、それまでにできる限りいろいろなものを見たいと思っています。そんなわけで、この記事で何を書くかを決めるのが、だんだん難しくなっています。

先月私はうれしいことに、北海道の札幌雪祭りを訪れることができました。それで、今回のテーマはこれに決めました。雪祭りは日本の冬のイベントの中でも最も大規模なもので、日本に来てからずっと見たいと願っていました。日本での滞在が残り6か月という時点で、ついに私の夢は実現したのです！

雪祭りは1950年、地元の高校生が大通り公園に6つの雪の像を建てたことから始まります。1955年には近くの真駒内の自衛隊も参加し、大規模な雪の彫刻を作り上げ、それが現在有名な雪祭りに発展していったのです。

今では日本国内からだけではなく、外国から参加するチームもあり、この雪祭りは国際友好を促進するイベントだと考えられています。私も本当にそうだと思います！！興奮した外国人ばかりの私たちの一団に、人々はとても温かく接してくれました。だから私たちはきっと、またいつか北海道へ来たいと思いました。

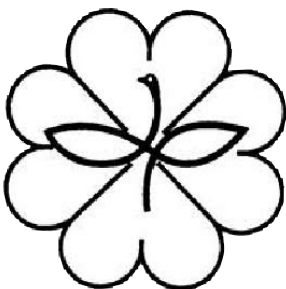
札幌の町に着くと雪が降っていて、地下鉄の駅から一步踏み出したら、それはまるで魔法の国に足を踏み入れたような気分でした！札幌の中心にある大通り公園は、雪祭りの中心会場です。雪の彫刻と像は見事でした。近くのすすきのには雪像のほかに、温かいベイリーズ（注：アイルランド産のクリーム入り蒸留酒）やウォッカ・オレンジを出す氷の煉瓦で作られたバー（居酒屋）なんかもありました。皆さんの想像どおり、もちろん私たちはここで楽しい一時を過ごしました。（ここには氷のゴミ箱もありました！）彦根城の雪像を造った自衛隊の人たちにも出会いました。

土曜の夜、私たちは藻岩山に登り、札幌の輝く夜景を見ました。頂上でまた、別のバーに入りました。今度は本物のイグルー（注：かまくら、エスキモーの家）でした。イグルーは初めてなので、夢のような気分でした。

今年は暖冬のせいで例年に比べて雪が少なく、自衛隊は雪を札幌の外から持ってこなければならなかったそうです。

私は札幌を心ゆくまで満喫することができました。皆さんも機会があれば是非お出かけください。

*この記事は、ALTの書いた英文を訳したものです。
英語版は中央公民館にあります。



民生委員・児童委員は あなたの街の良き相談相手

5月12日～18日「民生委員・児童委員の日」活動強化週間

民生委員・児童委員は、平成19年に民生委員制度創設90周年を迎え「広げよう 地域に根ざした思いやり」をスローガンに、地域住民・関連機関とともに安全で安心なまちづくりをすすめます。

担当の民生委員・児童委員が不明な場合は、次までお尋ねください。

■問合先 社会福祉課福祉係 ☎(内線209)

五條市社会福祉協議会 ☎24・4152